



茨木市立東中学校 生徒指導推進委員会
生徒指導通信14号 令和2年12月25日
文責：生徒指導主事 森山 聡

根気よく、主体的に学ぼう ~自分も周囲の人も大切にしよう~ 自分と向き合い、進路を切り開こう

~SNSでのメッセージの意味を考えよう~

今年、プロレスラーの木村花さんがテレビ番組に出演し、その番組内での行動についてSNSで誹謗中傷を受けて亡くなりました。

ご本人を直接知っている訳でもなく、テレビのニュースでこの痛ましい事件を知ったのですが、今ご本人のお母さんがインタビューに答えていらっしゃいました。

「加害者の男性の謝罪メールには、『自分には生きる価値がないから、損害賠償とかが終わったら死にたい』と言うようなことが書かれていた。

一番心配していたのは、そのことがニュースになることによって、彼(加害者)が個人特定されてしまったり、彼に対しての誹謗中傷が巻き起こってしまうという、そういう悲しい連鎖は花は望んで望んでいないと思いますし、私も望んでいない」

「言葉ひとつでもSNSの中で、誰かを突き落とすこともできるし、誰かの救いになることもできる。SNSの海に放たれた以上は、それがどこまで拡散されるかわからないので、一人ひとり責任と優しさをもって、SNSを幸せに使ってほしいと思います」

みなさんどう感じますか？

今、東中学校でも他人事でなくたくさんの方々が日常にスマホがあり、多くの人がSNSを利用していると思います。

伝えたいこと、それは・・・SNSを使うな。ということではありません。

木村さんのお母さんが言われる、責任と優しさをもって使ってほしいということです。

残念ながら東中学校でも、悲しい連鎖は起こっています。SNSのメッセージにより、心が傷つき、学校に来ることが苦痛になっている人がいることも知っておいて下さい。

誰かのSNSのメッセージに勇気づけられている人も多くいると思います。そんな嬉しい連鎖が起こる友人関係、そんな学校を一緒に作っていきましょう。そしてもし、誰かを傷つけてしまったと思ったら、誠実に謝り、関係を修復しましょう。

~新たな気持ちで目標設定を~

あとわずかです2020年も終わります、この年はコロナがなければ今頃テレビではオリンピックの名場面の特集が映され、それによって様々なところでオリンピック効果がでて、そして日本中が「さあ来年も！！」という空気に包まれていたと思います。

しかし、コロナにより様々な世の中の流れが中止、自粛と憂鬱な気持ちになってしまったところもあります。でも、みなさんの力でピンチをチャンスに変えてくれた姿がたくさんあったことに感心した場面を先生達は見てきました。

2021年、そんな力を飛躍の年にするために、ぜひ具体的に目標を決めてみてください。自分の心に残る、そしてそれが2021年のモチベーションになるような目標を決めましょう。まずは、そこからがスタートです！

短い冬休み、3年生にとっては勝負の冬休みにもなる時間。健康にだけは気を付けて良い年末年始を送ってくださいね。

よいお年を！！